

XZR-500 & XCU-500

排煙ガス酸素センサと酸素濃度計

XZR-500(センサ)は燃焼効率を最高に高めるよう空気供給量を決定するよう設計されています。ボイラー、焼却炉、各種燃焼炉での過酷な環境下で酸素濃度測定ができる最新の酸化ジルコニア・テクノロジーを採用しています。

XCU-500酸素濃度計と共に使用し過酷な条件化で高速・正確な測定結果を表示します。



XZR-500(センサ)

XCU-500-WM(壁掛型)

特長

- 計測の再現性と信頼性
- メンテナンスが容易で校正が簡単
- すばやく、簡単に取り付け可能
- 頑丈な設計
- 使用が簡単

用途

- ボイラーの効率と燃焼制御
- 排出物モニター (McertとNFIE認定)
- 産業廃棄および工業用焼却炉
- 石炭火力発電所
- 亜鉛メッキ炉や各種焼鈍炉
- ガラス溶融炉、均熱炉、セメント窯

ミッセル社は厳しい条件化での高感度計測器の設計に30年以上の経験を有しています。

高温、活性、腐食性ガス内の酸素計測ノウハウは必ずお役に立てると思います。

燃焼効率の正確な制御はプロセスの効率化やプラント稼働のコスト低減に重要な要素です。

XZR-500のユニークなデザインはこの排煙ガス・センサが排煙ガス流の直近に置れてもダメージから保護されます。

利点

・計測の再現性と信頼性

先進のメタル密封型酸素センサ(MSRS)技術は汚染に強く事実上ドリフトフリーで校正周期を延ばせます。これは計測ポイントが校正のために機器を取り外す事が困難な場所にあるときは大きな利点となります。

・堅牢構造

XZR-500は1300℃までの高温と廃油利用焼却炉の酸性ガス流にも対処できます。

・設置の容易さ

XZR-500は小型なのでほとんどの場所に設置可能です。また如何なるフランジにも対応出来る設計なので現行使用の酸素計との置換えが容易です。挿入プローブ長および材質の特注が可能です。

・校正が簡単

MSRS技術に基づくXZR-500は多くのアプリケーションで校正が乾燥エアを使用した1点校正のみで完了出来ます。自動校正や共通評価方法(GEM-QAL1)に対応できます。

・使用/メンテナンスが簡単

たった3つのボタン操作によりパラメータの変更、選択が可能です。石炭火力発電所等のダストの多い用途ではXZR-500で採用の高効率なブローバックシステムは挿入プローブへの堆積物を除去しメンテナンスの必要性を減らします。

テクノロジー

MSRS(メタル密封型酸素センサ)技術は元々火山計測の為に極めて過酷な用途を考慮した開発で確立されました。

高速応答、長寿命な小型設計センサ設計により発電所、産業廃棄アプリケーションでの酸素測定に幅を広げました。

MSRS技術は90%のステップ変化検出に僅か数秒と極めて高速応答します。汚染に対する強度、ドリフトフリーも大きな特長です。また校正頻度を最少にします。

